

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	2024年9月24日（ 17：30 ～ 18：45 ）
-----	-----------------------------

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー	8名
------	----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	5人	0人	0人	8人

前回の改善計画	引き続き家族や本人との関わりの中、たくさんの情報を聞き少しでも不安を取り除いていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用前の情報共有をしっかり行い、利用開始後は関りを多くもち、本人の不安を受け止めるように努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	5	0	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	5	0	0	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	4	0	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	4	1	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
朝・夕礼などを含むミーティングや申し送りノートなどを活用し、初期の情報共有を行い、まずは安心して生活していただけることを大切に考えて、解決すべきことに取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の目の前の状況把握が中心になり、本人の思いや家族の思いをじっくり聞き取ることは全てにできているとは言えない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
担当性も活用して、初期の支援の情報をもとに家族とのカンファレンスを持ち、方向性を共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024年9月24日（17：30～18：45）
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	6人	0人	0人	8人

前回の改善計画	プランだけでなく、本人との関わりの中でも「～したい」を聞きとり職員間で共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人との関わりを積極的に持ちながら、本人の思いを聞き取り共有するよう、ノート等を活用して取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	5	1	0	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	4	3	0	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	4	3	0	8
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	4	2	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 関わりでの気づきや感じたことを常に報告しあうことができており、次の支援へのステップになっている。
できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること すべてが本人の「～したい」を基にした支援になっているとは言えない。 モニタリングが活用できていない。
次回までの具体的な改善計画	（200字以内） 個々の目標に添ったモニタリング、カンファレンスの進め方を再検討し、支援に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024年9月24日（ 17：30 ～ 18：45 ）
3. 日常生活の支援	メンバー	8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	3人	3人	0人	8人

前回の改善計画	もう一度本人に合わせた介護を再確認し実行する。
前回の改善計画に対する取組み結果	計画が漠然としているため、評価にばらつきが出た。本人に合わせた介護とはどこから見たものかが難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	3	5	0	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5	3	0	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	3	2	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	3	0	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	4	0	0	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 今迄の生活を少しでも継続できるようにという思いを持って支援している。 日々の関わりの中での少しの変化も細かい報告があり、支援の変更の検討→実行も早くできている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の能力を生かす、取り戻すという視点よりも危険回避の思いが先に出てしまうことも多い。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人の尊厳を大切にしたい生活の為に、自分だけの思いではなく、人の気付きに耳を傾け、記録を書き、確認して、実行していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 9 月 24 日 (17 : 30 ~ 18 : 45)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	4 人	0 人	8 人

前回の改善計画	関わりが持ちにくい地域などは、民生委員とのつながり等で情報を得ていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	介護職員が直接的に民生委員と関わることは少ないが、事業所として不安な時には、協力を求めるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	0	0	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	4	1	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	7	0	0	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	5	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
今迄の暮らしをできるだけ継続できるよう、家族も共に支援をお願いし、行事へも一緒に参加していただけるよう案内している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
一定の地域の民生委員との情報共有はできているが、家族が協力できる方は民生委員への連絡はしないこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
これからも特に独居の方の関わりの時などには、民生委員、お帰り SOS、ボランティア、近隣の方々などの支援をお願いしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 9 月 24 日 (17 : 30 ~ 18 : 45)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	3 人	0 人	8 人

前回の改善計画	今活用している地域資源以外の資源も必要に合わせて積極的に活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今迄活用してきた地域資源は継続している。事業所発信の資源を地域に声掛けしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	2	0	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	3	0	0	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	4	0	0	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	2	0	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族の生活時間に合わせ、夕食後の帰宅等、小規模多機能で出きる特徴をニーズに合わせて提供できている。 ボランティアとの交わり、カフェでの地域との交流等ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人のできていない部分への支援の動きは早いですが、できる部分（ストレングス）を見ての支援への変更はあまりできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者のストレングスを引き出す機会として、地域の資源（カフェやボランティア他）を活用し、生きがいに繋げていけるように支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 9 月 24 日 (17 : 30 ~ 18 : 45)
6. 連携・協働	メンバー	8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	5 人	0 人	0 人	8 人

前回の改善計画	現在継続している、オープンカフェや認知症カフェをもっと地域の人に知ってもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の回覧板や新聞・掲示板などの協力をお願いし、参加への呼びかけに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	3	3	0	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	2	4	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	1	4	1	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	4	1	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
登録者以外の高齢者や子供が事業所を訪れることがよくある。地域の方が土日でも早朝も開いている施設として、迷っている方を連れてこられることもあり、後見人へ繋げることもあった。事業所での秋フェスタに多くの地域の方の出店等があり、共働の形ができてきている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ以前のような地域の運動会・敬老会などの参加は、開催のスタイルもかわっており、できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員がまんべんなく、会議や地域の交流の場所に参加できるように情報収集し、少しでも多く参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 9 月 24 日 (17 : 30 ~ 18 : 45)
7. 運営	メンバー	8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	3 人	0 人	0 人	7 人

前回の改善計画	地域での介護の拠点となれる様、介護相談会への声かけを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域にある 3 6 5 日 2 4 時間相談できる場所として、突然の対応や日常の相談にも多く関わった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3	1	3	1	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	6	0	0	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	4	1	0	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	3	3	2	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 運営推進会議には事業所をよく知ろうとする方が参加されており、自分たちの資源のアピールの仕方や、地域としての事業所への関わり方を積極的に意見してもらい、できることから取り組んでいる。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 運営推進会議への参加が一部の人になってしまう。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 運営推進会議の中から出る地域のニーズを、事業所と共に地域資源として継続していくことができるよう、会議に介護職員もできる限り出席できるようにしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 9 月 24 日 (17 : 30 ~ 18 : 45)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	2 人	2 人	1 人	6 人

前回の改善計画	自分でも参加したい外部研修に一つでも参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修は、掲示して参加希望者を募っているが、声をかけた一部の人のみの参加にとどまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	5	1	0	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	2	1	8
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	0	7	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	0	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内研修は、参加できない人にも伝達の形をとり、行き届くようにしている。 リスクマネジメントは、報告書の提出と再発防止策をしっかりと考え、共有して、他の事例にも繋げることができている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 他の事業所との連絡会や外部の研修への積極的な参加は少ない。一部の職員になってしまう。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 個々の目標にあった研修を個別に声掛けすること続け、自ら希望する研修と合わせて、年に一つは外部研修に参加する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 9 月 24 日 (17 : 30 ~ 18 : 45)
9. 人権・プライバシー	メンバー	8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	5 人	0 人	0 人	8 人

前回の改善計画	介護現場での個人情報の管理の仕方を、個々に再確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	個人情報の管理の仕方をそれぞれが考え努力した。 徹底まではできていないためもっと方法を考えていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	2	0	0	8
②	虐待は行われていない	6	2	0	0	8
③	プライバシーが守られている	3	4	1	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	2	1	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	5	0	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 研修などの学びを大切にし、目に見えての身体拘束だけでなく、言葉にも注意するよう努力している。 個人情報については、年々手の込んだ詐欺商法が増える中、強く意識をもって対応している。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 認知症の進行に合わせて、必要な成年後見制度等への声かけや説明を、事業所から現在あまり積極的に行っていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 成年後見制度について、外部研修への参加や内部の職員研修に講師を招いて、みなで学ぶ機会を作り、活用できるようにしていく。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 三重ベタニヤ	代表者	村上 久	法人・ 事業所 の特徴	法人理念はイエス・キリストの愛と奉仕の精神をもって高齢者にお仕えすることです。それを支える柱として（１）敬神と隣人愛をもって、（２）人の価値を行為にではなく、その人の存在そのものに価値を置き、（３）加齢を肯定的に捉え、枯れた美しさを見出す、ことに据えています。 事業所としては、地域との繋がりを大切にし、利用者にとってのもう一つの家のような、個別性を尊重した居心地の良い所となるよう、三位一体（利用者・家族・職員）の温かい絆を大切にし、寄り添った介助・介護ができるよう努めています。
事業所名	いこいの家小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	古川 理佳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	8 人	人	人	2 人	人	3 人	1 人	1 6 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	サービス評価の項目や内容の理解が難しいと、地域からも職員からも出ている為、もっと取り組みやすい形について話し合い今後に繋げていく。	サービス評価の項目は決まっており、変えることはできないが、自己評価に取り組みやすくするための説明に時間をかけたため、個々の職員も、じっくり取り組むことができた。	・この評価をする関わりが少ないので、家族からのアンケートなどを基にした評価でないと難しい。 ・自己評価の項目がわかりにくく矛盾もある。このシート自体を治せないのか。 ・介護職員の負担が増えている。働く人の待遇をもっと、国全体で考える必要がある。	運営推進会議の構成員の方々に、外部評価の説明を、施設の見学なども入れながら、もう少し時間をかけて行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き玄関に鍵をかけず、利用者の思いを大切にして、安全な環境も整えていく。	認知症の方が出ていこうとされても、できる限りセンサー等で対応しながら、玄関には鍵をかけないことを続けており、認知症の方もそうでない方も、玄関で座って話をするが多かった。	・施設を訪れる機会が少ないので、判断が難しい。 ・施設を訪れる機会を作り、簡単なチェックシートなどを来年度から活用してはどうか。 ・カメラは簡単に付けることができるが付けないのか。	玄関の清潔を保ち、座って庭を見て過ごす利用者や家族も、気持ちよく過ごせる空間にする。
C. 事業所と地域のかかわり	認知症カフェ、オープンカフェなどの地域との交流の場をもっと相談しやすい場所として地域に広めていき、情報の交換などで地域との関わりを増やしていく。 回覧板等地域との伝達方法を検討していく。	今年度から、松尾地区全体にカフェや秋フェスのチラシを回覧板にも入れていただき、地域からの参加や問い合わせもあり、繋がりができた。	今まで、この施設が何をしているところか知らなかった。まず何をしているところかを知ってもらうことが大切と思う。	地域で、3 6 5 日 2 4 時間空いている信頼できる場所で、相談もしやすい、繋げることでできる場所であることを、回覧板、ホームページ、新聞などを活用して、アピールしていく。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	カフェや運動教室、介護相談会などの地域との交流の場所の情報発信を積極的に行う。	様々な通信手段を用いて情報発信し、秋フェスには多くの参加者だけでなく、社会福祉協議会のブースやこども食堂の出店もあり、コロナ以降、外出ができなかった利用者也、家族と共に長い時間楽しむことができた。アンケートには、来年もぜひという言葉が多かった。	コロナ以降、地域の行事への声かけも少なくなっているため、事業所でのイベントを積極的に増やし、多く参加してもらっているが、質問の項目は「地域に出向いて」になっているため、「わからない」という意見も何名かあった。 ・項目の「地域に出向いて」は、「地域とのかかわりを深めて」のほうがいいのではないかな。	・コロナ以降、学校などに赴く機会が少ないため、施設で開催する行事（カフェ、運動教室、秋フェスなど）を地域の方々と共に開催し、利用者が地域との交流ができる機会を作っていく。 ・来年度から施設前に停留所ができる、地域の「デマンドタクシー」の説明を利用者や家族にもして、今までできなかったような、買い物などの外出の機会を増やしてもらえよう働きかけていく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	認知症カフェなどを地域の方に必要な資源として、地域包括支援センターや松阪市との協力をお願いし継続していく。	認知症カフェには、松阪市認知症初期集中支援チームの方も何度も参加され、補助金の申請も行えたため、幅広い計画を立てることができるようになり、参加者も加えられている。	この運営推進会議は、参加者も常に多く、事業所や地域に関しての活発な意見も多いと、松阪市からの言葉があった。	外部との繋がりが途切れてしまいがちな高齢者と地域とを繋ぐために、何が必要かを共に考え、地域での活動などの協働への話し合いができる場所としていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	引き続き地域の防災訓練への参加をし、運営推進会議で事業所の訓練への声掛けを行いながらBCPや福祉避難所運営へ協力をお願いしていく。	地域からの防災訓練への参加は無かった。 台風10号で実際に近くで土砂災害があったため、水害時に一階から二階に人を上げる訓練を、消防署の指導の下行った。	・消防署に防災訓練をお願いしているのか。 ・防災について話し合う機会は持てているが、事業所のBCPをまた見せてもらいたい。	事業所の防災訓練への参加を呼びかけ、BCPや福祉避難所の計画を実際に使えるものに近づけていく。

